

【主題名】本当の思いやりとは【思いやり、感謝】

【教材名】「月明かりで見送った夜汽車」

（中学生の道徳 自分をのぼす3 廣済堂あかつき）

【本時のねらい】

胸がじいんとしてきたときの「私」の思いを考えることを通して、相手に重荷にならない配慮された思いやりも自己と他者の心の絆を強めることに気づき、互いに支え合う温かい人間関係を築いていこうとする道徳的心情を育む。

【指導の要点】

相手に気付かれない、重荷にならないような思いやりは、相手の存在を大切に心を送ることから生まれ、それが結果として人との心の絆を強くしていくことについて考えを深めていく。

【主題に関わる生徒の実態】

- 基本的に穏やかで優しく、素直に思いを言える生徒達である。しかし、一部では自分の思いを素直に表出することが苦手な生徒もいる。
- 毎日の帰りの会でのありがとうメッセージでは、班でお互いの思いやりや頑張りを認め合っている。
- 日常生活や学校行事を通して、困っている友達にさりげなく寄り添ったり、「大丈夫？」というような声かけをしたりする姿が見られる。しかし、黙って温かく見守るなどの表に現れない思いやりや、相手に気付かれないような配慮された思いやりについては、意識したり考えたりする機会が少ない。

【授業を通して引き出したい生徒の考え】

- 一見相手には気付かれないような思いやりの言動も、その人がより安心して過ごせるためには必要だったのかも。
- 見返りや感謝を求めずにただ相手を思って行動するのが思いやりであると思う。
- これまで思いやりは相手に伝わらないと意味がないと思っていたけど、相手のことを考えて見返りなどを求めない思いやりもあることに気付いた。
- 今まで気付かなかっただけで、自分もこれまで見えない思いやりを支えられていたのかもしれない。そのような思いやりの心を、自分も周りに贈れるようにしたい。

指導上の工夫

板書計画

自分自身との関わりで考えるための工夫

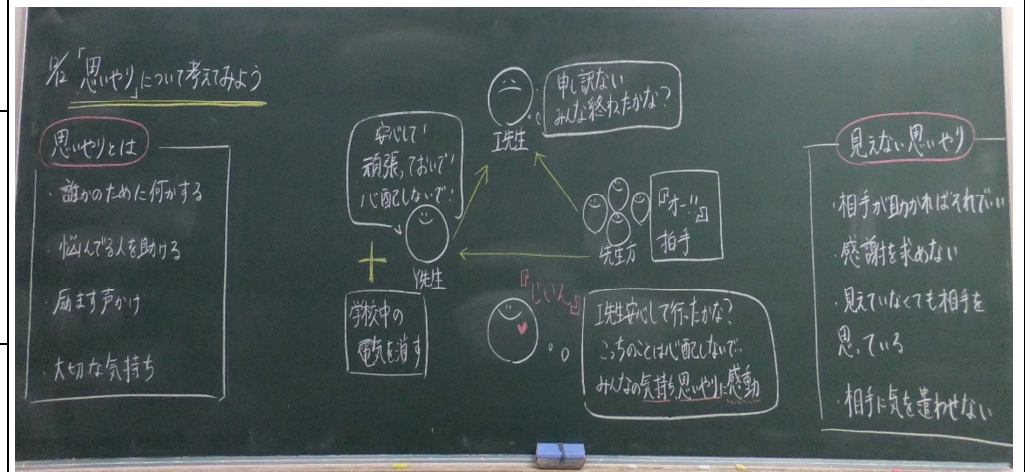
- 事前アンケートを活用し、自分にとっての思いやりを振り返ったり、思いやりについての理解を更に深めたりできるようにする。

多面的・多角的に捉えるための工夫

- 教材に見られる思いやりを人物関係図に示していくことで、思いやりには様々な感じ方や考え方があつていられるようにする。
- ジャムボードを用いて自己の体験を分類したり議論したりすることで、思いやりの様々な捉えや、相手に気付かれない思いやりを贈ることができる心について考えられるようにする。

主題に迫るための工夫

- 本当の思いやりとは何なのか、相手に気付かれない思いやりも思いやりと言えるのかを問い、思いやりの意義を深く考えさせる。（どのような考えから相手に気付かれないような思いやりの言動ができるのだろうか）



【学習指導過程】

	学習活動と主な発問（○）、補助発問・問い返し（◆）、留意事項（・）	生徒の反応
導入	1. 思いやりについてのそれぞれの考えを知り、自分を見つめる。（5分） ・思いやりについてのアンケートをみんなで確認し、日常の様々な思いやりを想起させて教材へつなげるようにする。	
展開	<p style="text-align: center;">思いやりについて考えよう</p> 2. 教材をもとに思いやりを相手に贈るときに心について考える。（10分） ○お話の中では、どんな思いやりがありましたか。 ・人物関係図に示していくことで、思いやりには様々な感じ方や考え方があることを捉えられるようにする。 ◎胸がじいんとしてきたとき、「私」はどんな思いだったのだろう。 ・Y先生やその他の先生たちの言動をもとに、心の中をペアで考えさせる。 ◆拍手をしたのは、どんな思いからだろうか。 ◆電気を付けて、「ぼくたちも頑張っているから、そちらも頑張って行ってきてね」でもよかったのでは？感謝されるのでは？ ◆拍手や電気を消すことは相手に伝わらないのに思いやりと言えるのだろうか。 3. 相手に気付かれない、重荷にならない思いやりについて考える。（20分） ○これまでに体験した思いやりについて改めて考えてみましょう。 ・ジャムボードを用いて、事前アンケートのこれまでに体験した思いやりについて相手に見える思いやりと相手には見えない思いやりに分類し、気付いたことを交流する。 ◆どのような考えから相手に見えない思いやりの言動ができるのだろうか。 ◆それは、実際には難しいことではないか。言ってしまいたいと思うのはどういう気持ちからか。	<ul style="list-style-type: none"> ・「心配しないで」「安心して」という言葉をかけた（Y先生） ・学校中の電気を消した（Y先生） ・『オー！』という声と拍手が起こった（先生みんな） ・I先生安心して行ったかな？ ・I先生、こちらのことは心配しないでください。 ・先生方みんなの気持ち、思いやりに感動した。 ・相手に気を遣わせないため。 ・相手に伝わらなくても相手のことを思っているから思いやりだと思う。 ・相手に伝わってないなら思いやりとは言えないかもしれない… ・相手のためになればそれでいいと思う。 ・相手に気を遣わせたくないという思いがあると思う。 ・見返りや感謝を求めずにただ相手を思って行動するのが思いやりだと思う。 ・確かに、その人のためにしたのに感謝されなかったら嫌かも。でも、そんな気持ちは思いやりとは言えないのかもしれない。
終末	4. 今日の学習を振り返る。（10分） ○今日の授業で「思いやり」について改めて考えたことを書きましょう。 ・自分との関わりで考えたこと・友達意見を聞いて考えたこと・これからに生かしたいことなどの視点から（選んで）振り返るように促す。 ・ワークシートに記述し交流することで、思いやりについての考えの変容や友達の気付きにも触れられるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで思いやりは相手に伝わらないと意味がないと思っていたけど、相手のことを考えて見返りなど求めない見えない思いやりもあることに気付いた。 ・今まで気付かなかっただけで、自分もこれまで見えない思いやりを支えられていたのかもしれない。そのような思いやりの心を、自分も周りに贈れるようにしたい。 ・お互いを思いやり支え合うクラスを自分も作っていききたい。

【評価の視点】

○思いやりについて、自らの考えや言動を振り返り、生き方に生かそうとする思いを持っている。【自分自身との関わり】

○相手に気付かれない、見えない思いやりのよさや難しさ等、思いやりについて様々な視点から考え、見方を広げている。【多面的・多角的】